

# バカにできない 天気についての言い伝え

雲の動きや風の方向、気温の変化や動物の行動などを観察して、これからの天気の変化を予想することを“観天望気(かんてんぼうき)”といい、各地に、天気についての言い伝えとして残っているものが多い。特に海上を仕事場とする漁師(りょうし)さんや農作業にたずさわる人たちにとって、天気の変化を正確(せいかく)に予測(よそく)することはとても大事で、新聞やラジオのなかった昔の人たちは、ながねんの経験(けいけん)によって天気についての言い伝えを発見し、今日まで受けつがれてきている。

言い伝えには、君たちの地方だけにしかあてはまらないものもある。いろ



## ●朝と夕方のきざし

- ・夕焼けのつぎの日は晴れる。
- ・朝焼けの日は雨になる。
- ・朝にカッコウ、夜にフクロウが鳴くと晴れになる。

いろな言い伝えを調べて自分で天気を予想し、気象庁が発表する天気予報(よほう)とどちらが当たるかくらべてみてもおもしろい。

天気図を自分で書いたり、読みとれることができるようになれば、もうあなたはりっぱなシーマンといえる。



## ●動物

- ・アマガエルが鳴くと雨になる。
- ・ネコが顔を洗(あら)うと雨になる。
- ・ツバメが低く飛ぶと雨になる。
- ・クモの巣に朝つゆがかかっていると晴れになる。



## ●雲の動き

- ・入道雲がわくと夕だちがくる。
- ・北に向かう雲は雨、南に向かう雲は晴れ。
- ・雲が高いと晴れ、低いと雨になる。
- ・うろこ雲ができるつぎの日は雨になる。



## ●風の動き

- ・むしあつい南風の次の日は雨になる。
- ・朝北風、夕南西の風は晴れ。
- ・秋風蒸(む)し暑ければ大風。
- ・地震(じしん)の後には風がふき雨が降(ふ)る。



## ●その他

- ・雷(かみなり)がなると梅雨(つゆ)があける。
- ・星がたくさん見えるつぎの日は晴れ。
- ・月や太陽にカサがかかれば雨になる。
- ・朝虹(にじ)は雨、夕虹は晴れ。
- ・西の空が明るくなれば晴れてくる。
- ・海面にアワがうくと強い雨と風がふく。
- ・トンビが空高く輪をかくと晴れ。
- ・早朝の雨はすぐやんで、夜中にやんだ雨はすぐ降(ふ)りだす。
- ・朝霧(あさぎり)と朝雲は晴れるしるし。
- ・遠く山なみがはっきり見えるのは雨のきざし。